

【目指せ一反4t取り】太いネギを作るコツ
～平地・暖地での冬ネギ ver.～

※このメールは有料会員様のみにお送りしております。※

こんにちは！ネギ参謀です。

最近、夏～秋にかけての水害や乾燥、ハモグリバエでの被害で、「ネギがあまり太らない」というお話しをよく耳にします。

そこで、「太いネギを作るコツ」について、ご案内させていただきます。

今回は主に平地・暖地での冬ネギバージョンになりますが、基本的な考え方は他の作型のネギや冷涼地でも同様のため、応用できると思います。

目次

コツ1：土づくり【3要素を整える】

コツ2：定植～8月中旬の管理【ミネラル優先窒素控えめ】

コツ3：8月下旬～10月中旬の管理【時期を逃さない】

コツ4：10月下旬～仕上げの管理【センイ（CHO）づくり】

おわりに：ワンサイズダウンで売上マイナス20万円！？

コツ1：土づくり【3要素を整える】

(物理性)…土のやわらかさ・水はけ・水もち

根をしっかりと張れるように水はけを良く、締まり過ぎていない状態にしておきます。

(化学性)…PHや栄養状態

地力は高い方が肥大性は良いですが、ほどほどが肝心です。

ネギはミネラル（微量元素）が多い状態を好みます。

チッソが多過ぎると根張りが弱く、夏場の湿害や軟腐にもなりやすいです。

(生物性)…微生物など土に住む生き物の多様性

微生物が多様な状態にしておく（輪作する、良質な有機物を入れる、納豆菌を入れる）。

こうすることで根がすくすくと張りやすい状態になるだけでなく、病害も減ります。

コツ2：定植～8月中旬の管理【ミネラル優先チッソ控えめ】